

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
1	家筋書扣ひ	北組かつほ沢村 割元格 惣之允		横帳	1点	文化4年	卯5月7日家筋書御尋ニ 付書上ケ扣ひ
2	不動堂造作奉加帳			横半帳	1点	弘化4年1月21日 ~5月5日	「毎日亭主分之者村申 家別ニ相廻り可申事」 「銭、わらし、なわ志 次第寄進可致事」
3	祝事ニ付抄録			横半帳	1点	弘化4年3月	翌年頭入来饗応の内容 等
4	法事御取越執行帳	鈴木氏		横半帳	1点	嘉永7年9月23日	惣左衛門先妻、釈尼妙 誘百回忌
5	御建言写			横帳	1点	慶応3年12月~4 年3月	河井継之助の建言書写 等
6	立言子終焉記	鈴木摠之丞義順		縦帳	1点	慶応3年6月	立言幼名吉松と言う
7	土蔵諸道具取調帳	水沢氏		横帳	1点	慶応3年8月27日	書籍、手本、俳書、土 蔵下タ、上りたん引出 シ、2階
8	家居小補諸事録	鈴木訥叟		横半帳	1点	明治2年	
9	練子帖	鈴木氏		横半帳	1点	明治3年6月21日	結納引受の記録
10	覚(金銭収支扣)				1点	明治4年	
11	鬼木村大久保氏一元入来記	鈴木摠之丞		横半帳	1点	明治4年10月	
12	ぜんこうじまいりだうちう 記全	蔭澤閑人 穂積 義順		綴	1点	明治7年5月	
13	県治報知・村内回達 題言 記	鈴木訥叟蒐録		横半帳	1点	明治8年2月	古事記巻の上、古事記 巻の下の一五か条の 御誓文等
14	十世鈴木惣一郎 死去香典 帳			横帳	1点	明治11年4月19日	表紙破損
15	日記補(西京滞留中、播州 巡覧記)	鈴木訥叟			1点	明治15年4月26日	
16	同詠共撰集 第34号 後巻 (活版)	椎本文庫			1点		
17	方々通			横半帳	1点	明治18年2月	裏表紙に朱印「かつほ 澤始10ヶ村養老会幹 事」
18	五十翁昔語	鈴木訥叟稿			1点	明治20年12月	幼時よりのことを記す
19	磨上原戦死三百年忌追膳 (活版)	発起人 富田主 馬			1点	明治21年5月	天正17年6月5日の戦、 戦没者幾百人
20	磐梯山噴火破裂所探見抄録 紐共	鈴木訥叟	磯地新聞社編輯 局	横帳	1点	明治21年8月7日	
21	有明新聞記者併而該新聞看 衆諸君ニ忠告	鈴木訥叟		横帳	1点	明治21年	栖吉村要吉
22	はがき(磐梯の一件実ニ驚入 り候)	安積郡舟沢村 水沢仏斗	北会津郡若松十 日町 森川誠二 様方 鈴木訥叟	ハガキ	1点	明治21年	
23	義捐金募集広告	福島県北会津郡 若松栄町 藤田 貞吉			1点	明治21年7月	明治21年7月15日磐梯 山噴火による被害者へ の義捐金募集
24	寄留地ニ於テ簡閲点呼参会願 封筒「御礼答」書状(近來 の愉快畢竟御高庇故と奉感 佩候)	42年徴兵後備役 工兵伍長 鈴木 竹之助	村松連体区司令 官 野崎茂		1点	大正9年3月15日	左ページ許可証、高田 連隊区司令部からの附 箋あり
25		長岡 田中春回	加津ほ沢村 鈴 木訥叟		1点	8月24日	複写資料No. 80(整理 袋45)
26	書簡(磐梯山探見録の恵送 の御礼と近況報告)封筒共	水澤源一郎	鈴木訥叟		1点	8月21日	宿主人は小田原藩大久 保の家臣である 複写資料No. 80(整理 袋45)
27	(「赤坂夕照」など十景の タイトル)				1点		他に「長岡故小林虎三 郎晩年病翁君小伝」と あり

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
28	時抄(和読要領上・愛蓮説・古碩銘等)			写本	1点		
29	書状(過日ハ御馳走奉謝候、拙作、題詞共に改めたし)	山田到处	鈴木訥叟		1点	7月10日	複写資料No.80(整理袋45)
30	書状(拝誦仕候、浦瀬、落雁ハ妙也雅也)	山田到处	鈴木訥叟		1点		
31	書状(十景ハ多を食るを免れず)	山田錫	鈴木訥翁梧下		1点		複写資料No.80(整理袋45)
32	書状(和歌添削の依頼)	鈴木訥叟	三芳野老宗匠		1点	9月22日	複写資料No.80(整理袋45)
33	東京行(紀行文、短歌、添削依頼)	鈴木訥叟	三芳野 宗匠		1点		朱「三芳野千春大人點」 複写資料No.80(整理袋45)
34	書状(漢詩「古渡霧」添削依頼)	水澤南暮	鈴木訥叟		1点	8月10日	複写資料No.80(整理袋45)
35	芝増上寺大僧正之短冊				1点		秋の末よしのてよしの山雲はまことのくもにしてちるハさくらのおちは
36	短歌(「寄菊祝」添削)	鈴木訥叟			1点		
37	(大画箋・小画箋見本、端紙「せんかうし」)				1点		大画箋、杏枚価金、墨痕飛散
38	短歌(「古城秋月」等9首)	壬藤稚			1点		
39	短歌(「樹陰納涼」等4首、添削)	鈴木訥叟			1点		歌4首、朱書あり
40	書状(華墨拝見爾来意外之御疎音…)				1点		後欠、共進会写真
41	短歌(「樹陰納涼」等3首)	鈴木訥叟			1点		歌3首
42	短歌(「草花露」等6首、添削)	鈴木義順	近藤雅		1点		
43	書状(老生当地出張ニ付御褒詞を辱)	神田町三州屋ニ 鈴木訥叟	英志会長 松本慶八		1点		
44	覚(暴瀉病治療策)				1点		芳香散
45	短歌(「山紅葉」等5首、添削)	鈴木訥叟			1点		
46	神殿天井の絵模様の名称			一紙	1点		16枚
47	短歌(「池水浪静」等2首、添削)	鈴木義順			1点		
48	短歌(「雪」2首、「若水」2首、添削)	鈴木訥叟			1点		添削の朱書きあり
49	封筒「別紙在中」	三島郡才津村 水澤平吉	古志郡かつほ沢村 鈴木訥叟		1点	8月20日	
50	短歌(「鄙の手ふり」二、添削)	鈴木義順			1点		朱書「15年5月9日参る梅花園蓮茵師点」
51	短歌(「鄙の手ふり」添削)	鈴木訥叟			1点		朱書「20年3月三芳野千春の添削」
52	短歌(「鄙の手ふり」3、添削)	鈴木義順			1点		朱書「15年5月9日参る梅花園蓮茵師点」
53	短歌(「鄙の手ふり」第4、添削)	鈴木義順			1点	明治16年1月	朱書の添削あり
54	(短歌「鄙の手ふり」第4、添削の依頼)	鈴木義順	拝郷蓮茵宗匠		1点	明治16年1月5日	
55	(短歌「鄙の手ふり」第5、添削の依頼)	鈴木訥叟	拝郷蓮茵老宗匠		1点	明治17年1月7日	
56	短歌(「鄙の手ふり」添削)	鈴木訥叟			1点	明治17年	朱書「東京本所橘道守大人添削」漢詩あり
57	短歌(「鄙の手ふり」第5、添削の依頼)	かつほ沢村 義順 鈴木訥叟	拝郷蓮茵老宗匠		1点	明治17年1月7日	「梅花園の老師之返書」あり
58	短歌(「鄙の手ふり」添削)	鈴木訥叟			1点	明治17年1月	古志郡蔵王、三芳野千春大人批点、漢詩あり

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
59	短歌(「鄙の手ふり」第6、添削)	鈴木訥叟			1点	明治18年	朱書「明治18年1月西京蓮茵師点」
60	短歌(「鄙の手ふり」第7松島紀行、添削)	鈴木訥叟			1点	明治18年3月	朱書「明治19年丙戌1月西京室町梅花園拝郷蓮茵師批点」
61	短歌(「鄙の手ふり」第8、添削)	鈴木訥叟			1点	明治20年	朱書「明治20年丁亥3月富小路高辻上ル町梅花園拝郷蓮茵上人点」
62	短歌(「鄙の手ふり」第9、添削)	鈴木訥叟			1点	明治21年	朱書「明治21年2月梅花園蓮茵師八十一翁批点」
63	短歌(「鄙の手ふり」第10)	鈴木訥叟			1点	明治22年	朱書「明治22年2月梅花園拝郷蓮茵師82翁点」この葉の中に明治22年2月11日付の拝郷蓮茵の封書あり
64	書状(近況と御賞美金の御礼)封筒共	拝郷蓮茵	鈴木訥叟		1点	明治22年2月11日	鄙の手ふり第10(No.64)の中にあったもの
65	鄙の手ふり 第11	鈴木訥叟			1点	明治22年2月11日	朱書「明治23年1月梅花園拝郷蓮茵師批点」この葉の中に明治23年1月22日付の蓮茵の封書一通あり
66	書状(年賀の挨拶と御付金の礼状)封筒共	拝郷蓮茵	鈴木訥叟		1点	明治23年1月22日	金巻円御恵投、鄙の手ふり第11(No.65)に挟っていたもの
67	鄙の手ふり 第12 端紙共	鈴木訥叟			1点	明治24年	朱書「明治24年1月点者京都梅花園蓮茵上人」端紙「2 いつそや奉伺候…」
68	鄙の手ふり 第14	鈴木訥叟			1点		
69	鄙の手ふり	鈴木義順		横帳	1点		朱書「明治15年4月西京室町梅花園蓮茵上人点」
70	(よへよりことに寒かりつる…、随筆の添削)			一紙	1点		添削の朱書きあり
71	(よへよりことに寒かりつるハ…)				1点	11月23日	朱書の添削あり。本多朴氏取次
72	(来春禁中御題…)				1点	明治18年12月	朱「梅花園蓮茵師点」
73	林崎文庫之碑 端紙共	本居宣長			1点		端書には碑文と違う点を列記
74	歳暮述懐	鈴木訥叟			1点	明治19年2月	1枚目:大和田建樹氏批点、2枚目:東京本所、搦道守氏批点
75	小舟をこかせて塩釜におもむくとて				1点		添削あり
76	はつ雪のおとつる々かと思ふかな	鈴木義順		一紙	1点	明治17年11月23日	
77	明治二十四年月次兼題(活版)	梅花園蓮茵		一紙	1点	明治24年	
78	新津の里なる幸清水をみて	鈴木訥叟	三芳野宗匠		1点	4月9日	朱書き添削あり
79	池蓮	鈴木訥叟			1点		歌4首朱書き添削あり
80	旅のことつて	鈴木義順			1点		信濃、伊勢の松坂、奈良、丹波、大江山、天橋立、丹後等での歌

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
81	随筆(明治十五年の春のころ我か本山の用事にて西京へ参りぬる)6枚、後欠				1点		朱書き添削あり
82	松島行(歌)	鈴木訥叟			1点	明治18年3月	三芳野千春の添削(朱筆)あり
83	北海道行日記中(空知なるたつぷ山に…)	鈴木訥叟			1点	明治20年	北海道視察中に作った歌
84	北海道行日記中(六月二十日汽船…)	鈴木訥叟			1点	明治20年10月	朱書「明治20年10月西京富小路高辻上町梅花園拝郷蓮茵師八十翁批点」
85	薄暑相進候処(北海道の事にて)	北海道石狩国札幌区旅宿に於て 鈴木訥叟	三芳野宗匠閣下		1点	明治20年7月10日	
86	随想(きのふの朝、長岡の町を…)	鈴木訥叟			1点	明治20年	梅花園拝郷蓮茵師点
87	随想(題ハ何としるし得るべきにや)	鈴木訥叟	三芳野宗匠閣下		1点	明治22年2月	朱書「明治22年2月蔵王三芳野千春大人点」
88	綾子再嫁記	鈴木総之丞		横半帳	1点	明治4年11月	
89	端紙(7月11日のメモ、大和屋こしの雪等メモ)2枚 紙紐共				1点		
90	書帖案(八丁沼水患対策につき)	鈴木訥叟	安藤五八郎・井上戸久治		1点	明治24年7月29日	
91	孫いはひ小向一元当座扣帳書簡(離縁の儀猶予下されたし)	鈴木氏			1点	明治19年3月	産屋明き孫いはひ振舞
92	書簡(縁談承諾の御礼と今後の予定)	川上喜右衛門	鈴木惣之丞		1点	10月8日	
93	書簡(結婚のお祝いと嫁ぎ先での注意等)コピー共	かつほ れん	あね上さま		1点	11月24日	
94	辞令「任陸軍工兵伍長」	工兵第六大隊	鈴木竹之助		1点	明治43年11月30日	
95	辞令書(栃尾実業学校授業嘱託)	新潟県	鈴木竹之助		1点	明治44年4月12日	
96	辞令書(嘱託ヲ解)	新潟県	古志郡立栃尾実業学校授業嘱託 鈴木竹之助		1点	明治44年12月8日	
97	辞令書(栃尾実業学校教諭ニ任)	新潟県	鈴木竹之助		1点	明治44年12月8日	十級俸給興
98	辞令書(上組農学校教諭ニ任)	新潟県	新潟県古志郡立 栃尾実業学校教諭 鈴木竹之助		1点	大正2年7月2日	月俸38円給与
99	辞令書(上組農学校舎監ニ兼任)	新潟県	新潟県古志郡上 組農学校教諭 鈴木竹之助		1点	大正4年12月8日	年手当4円給与
100	辞令書(山東農林学校教諭ニ任)	滋賀県	新潟県古志郡立 上組農学校教諭 鈴木竹之助		1点	大正7年10月5日	当分月俸47円支給
101	日則(一日の過ごし方)				1点	文久元年3月	
102	庚午私記				1点	明治3年9月	朱書き・附箋あり
103	庚午私記				1点	明治3年9月	朱書あり
104	南畫真趣	画生 穂積順		豎帳	1点	明治5年10月	
105	文法口授 全	鈴木弘恭			1点	明治16年5月16日	
106	五十翁昔語草稿	鈴木訥叟		豎帳	1点	明治20年12月	『五十翁昔語』より丁寧 に書かれている

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
108	養生漫話	鈴木訥叟			1点	明治23年12月21日	健康法2つ、1つは毎朝の深呼吸、1つは腹八分目の食事
109	姉弟咄松坂	鈴木訥叟 記			1点	明治25年2月	
110	戸長章程	新潟県令 楠本正隆			1点	明治5年10月	専任之条1~6、可注意之修1~8
111	田井福順寺円輪老師法話				1点		
112	上の才津衆入来賄 帯封共			一紙	1点	乙亥5月15日	5月15日からの料理を表す
113	口上(おれん送籍差上げ)	朴民			1点	11月27日	
114	仮日記(長岡病院にて)			巻紙	1点	4月9日~4月17日	
115	夫水戸殿の不定なる相を觀すれハ			一紙	1点		
116	熊本俚談	亀井道斎			1点	嘉永2年	序、目録あるけれど「堀平太左衛門執政之事」のものだけ
117	永々御取持趣意書 全			縦帳	1点	天保6年3月	寺々并在家報恩講之事等8か条を記載す
118	間取り図				1点	文久2年2月	
119	間取り図 附紙共				1点		
120	(床の間の寸法と絵)			一紙	1点	己巳3月	反古紙より見出し
121	猿橋・刈谷田両川末流交換目算粗図				1点	明治18年12月	南蒲原郡某村某氏所持/旧図ニ越後国郡図ヲ参酌シ倉卒此図ヲ製シルモノナリ
122	樺沢村山境部分図			一紙	1点		
123	書簡(書社規則草稿を読んでの便り)			一紙	1点	9月24日	二啓戸籍雛形拝借のお願い
124	障子はりかへ(部屋毎の数と張り方等)			一紙	1点		
125	官民談話会祝辞 草稿	鈴木訥叟		巻紙	1点	明治21年2月18日	
126	己巳抄	長岡 倉沢氏本		横半帳	1点		箋註蒙求校本抄。附官職考略、相学便蒙の項あり
127	鹿児島藩にて国中の医師へ諭告の文				1点		中外新聞第39号、明治3年庚午正月東京出版抄出
128	斬蛇行	山田錫	かつほ 訥叟鈴木君	一紙	1点	6月22日	
129	明治22年改正新版 書画集 覧	神田鍛冶町5番地 長谷川常治郎		一紙	1点	明治21年	朱書「明治22年3月5日到着在東京水沢源一郎子より」
130	当分記	鈴木氏		横半帳	1点	明治6年8月6日~10月3日	
131	包紙「山居之図 刈谷田、猿橋川筋籠図」赤坂住居籠図5枚 紐共				1点	明治18年	赤坂柿園茅屋の図擬妙喜庵の図等
132	御直命并御悲歎之御書			縦帳	1点	文政6年~天保5年6月29日	文政6年11月15日御焼失の翌日、大谷御堂での直命に始まる
133	自ら信し人にも信を勧むるの私議	鈴木訥叟		縦帳	1点	明治19年12月19日	本願寺の再建のためにも北海道開拓の事業を推進するべきことを論述
134	浪肉演説	鈴木訥叟		縦帳	1点	明治24年10月3日	破損部分あり
135	包紙「目録」				1点		135~137一括。135は1/3

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
136	進上 御帯地			一紙	1点		135~137一括。136は2/3。5品記載
137	進上 西洋布				1点		135~137一括。137は3/3。3品と送り先記載
138	包紙「目路久」				1点		138~140一括。138は1/3
139	進上 白唐縮緬	本多道三郎			1点		138~140一括。139は2/3
140	覚(書画三葉 御主人様)				1点		138~140一括。140は3/3
141	包紙「茂久録」				1点		141~142一括。141は1/2
142	進上(縞細等五品)				1点		141~142一括。142は2/2
143	圓輪師君小伝	鈴木訥叟			1点	明治23年8月1日	円輪老師は古志郡田井村の福順寺7世の住職
144	うたまくらあこやの松の一巻	鈴木義順 写記 羽州千歳山 萬松寺		縦帳	1点	明治20年8月3日	144~145一括。144は1/2。奥羽遊歴中に録す
145	平家物語所載古歌			一紙	1点		144~145一括。145は2/2
146	旧八町沼跡水患地粗図調成大意	鹿図調成委員			1点	明治24年8月	
147	奉請箒手田県知事明府旧八町沼水害患地御巡視ノ議(下書)	古志郡何村惣代			1点	明治24年8月	
148	擬講蓮成院法話			冊子	1点		後半は「大講師法話」
149	怪化余説録して諸賢の是正を乞ふ	荷津保村 三誠居士			1点	明治10年8月	虫喰著しい
150	狡兎行	山田到处	訥叟鈴木	一紙	1点		怪化余説難御蔭ヲ以テ拙作出來候
151	よひ月集草稿	穂積よし順 浅草区駒形町42番地 児玉又七		横半帳	1点	嘉永3年8月14日	
152	書画名歌一覽(活版)			一紙	1点	明治22年1月20日	
153	包紙「名記」改名記				1点	明治4年11月23日	礼太郎改鈴木摠一郎
154	清娛会兼題	鈴木訥叟		一紙	1点		柳、春祝朝春雨等の題と歌
155	清娛会当座(短歌)	鈴木訥叟		一紙	1点		野外雉、春人事等の題と歌
156	山残桜	鈴木訥叟		一紙	1点		歌2首
157	講習証書	古志郡教育会長 正六位勲五等 稲田甫吉	鈴木竹之助		1点	大正5年8月17日	夏季講習会
158	卒業証書	新潟県立高等女 学校長從七位 柏倉一徳	鈴木トウ		1点	明治37年4月1日	
159	修業証書	新潟県立高等女 学校長從七位 森田利房	鈴木トウ		1点	明治38年4月1日	
160	包紙「那須野殺生石私考、安達原黒塚物かたり」	鈴木訥叟			1点		160~162一括。160は1/3
161	殺生石辺土塊之縁記	下野国出先ニ 鈴木訥叟			1点	明治18年4月9日	160~162一括。161は2/3
162	安達ヶ原 黒塚夢物語	鈴木訥叟			1点	明治18年4月2日	160~162一括。162は3/3。朱書「倉卒稿」

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
163	殺生石見聞記	鈴木訥叟			1点	明治18年4月	この冊子には「安達が原黒塚夢物語」が収められている
164	稲葉行	鈴木氏		横半帳	1点	明治4年11月	11月11日暁出立惣之丞・家内・よめ・供5人
165	両堂御再建御消息之写	鈴木訥叟			1点	明治16年6月	朱書「三条別院ニ於テ写得」とある
166	上「乍恐以書付御届申上候」(貧窮者報告)	横目市左衛門、 組頭 清左衛門 庄屋 摠之丞	御民政所御役人様	縦帳	1点	慶応4年8月29日	極貧窮者の調査報告戸数と人数
167	農書輪講会則	東京四ツ谷仲町1丁目7番地 瑞穂			1点	明治9年2月	
168	留守居帳	鈴木氏		横帳	1点	明治9年1月6日～5月2日	お金の収支記載
169	修家図取帳(住宅内部の見取図)			横帳	1点		170～169一括。169は1/2。見取図、名称、長さ記載
170	入用品図り			一紙	1点		170～169一括。170は2/2。平面図、広さ、各品物、その代金
171	岩/沢出入一條(下書) (こんにやく、くるま麩、 菊酒の買物覚)			折紙	1点		龍昌庵から岩沢江筋についての願に対する答書糊がとれ切断している
172	5月15日 長岡用(神田かも やにて買物覚)	荻堀村 今井屋	鈴木様御台所	綴	1点	5月14日	菊酒1斗の代金1円の領収書
173	与板用(買物覚)			一紙	1点	5月15日	品名と代金
174	再述(小家へ参るよう伝言 依頼)			綴	1点	乙亥5月14日	品名と量代金
175	醤油、酢など買物覚)			切紙	1点		小家への来訪の信言依頼
176	領収書(白足袋代金)	みさきや 勝蔵	鈴木様	切紙	1点	乙亥5月12日	上州や、八百忠、与板やの名前あり
177	甲冑堂之事ニ就きて(由来)	鈴木訥叟		折紙	1点	明治26年6月18日	磐城国齊川駅の南にある甲冑堂の故事をまとめた
178	諸受取綴		鈴木義延、鈴木義太郎	綴	1点	大正10年	179～182一括。179は1/4。商店、病院、新聞屋等の受領証を綴る
179	鈴木理事(出張旅費明細)			切紙	1点		179～182一括。180は2/4。日当、宿泊、旅費
180	京都出張旅費日当宿泊料				1点		179～182一括。181は3/4
181	遠藤・鈴木出張費用明細	鈴木		綴	1点		179～182一括。182は4/4
182	上包「親戚知己手筒袋」紐 共	穂積義順			1点	明治6年	183～260一括袋入。183は1/78。袋紙の裏に明治4年柏崎県役所への陳情が書かれている
183	書状(かんぴょう恵贈の御礼)	長谷川内	鈴木様		1点	8月10日	183～260一括袋入。184は2/78

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
185	書状(信濃川辺の土地払下げ申請の動き)	片山	鈴木様		1点	明治6年6月5日	183~260一括袋入。185は3/78。高橋成る者
186	書状(木印之儀 壱両日中に出来る)		木訥雅君		1点	明治6年7月20日	183~260一括袋入。186は4/78。せつ田屋、幡氏
187	書状(代価貳百文位之由)	鈴木訥叟様	長谷川四郎		1点	9月8日	183~260一括袋入。187は5/78。村山医師
188	書状(いつそや借用の口口返却する)	川上喜右衛門	鈴木惣之丞		1点	明治6年2月9日	183~260一括袋入。188は6/78
189	書状(官軍よりの御下金250両の割方について)	井上戸久治	鈴木惣之丞		1点	11月25日	183~260一括袋入。189は7/78。割方金120両 四ツ屋村・金57両 百束村・金50両 福井村
190	書状(英氏経済論所持不仕候)	稲田長照	鈴木訥叟		1点	9月16日	183~260一括袋入。190は8/78。長谷川泰正7位ニ叙せられたこと、小林先生の動静が記述されている
191	書状(成婚の祝状)	遠光寺	鈴木惣之丞		1点	15日	183~260一括袋入。191は9/78
192	書状(百回忌法要の花や菓子を恵贈された礼状)	北沢又次	鈴木槐一郎		1点	7月29日	183~260一括袋入。192は10/78
193	書状(御見舞珍菓御恵送の礼状)	田辺権市	鈴木惣之丞		1点	5月26日	183~260一括袋入。193は11/78
194	書状(私儀痔疾、老母重病私宅へ御来臨を)	新保口次郎	鈴木様		1点	明治6年9月12日	183~260一括袋入。194は12/78
195	書状(病気見舞状)	前川	鈴木訥叟		1点	6月2日	183~260一括袋入。195は13/78
196	書状(新年の祝詞と売留相場)	新潟まつきや伊左衛門	かつほ沢村 鈴木順之丞		1点	1月2日	183~260一括袋入。196は14/78。長岡御米30俵2分・高崎御米33俵4分・三田米34俵35分
197	書状(法要への参加人数10人を知らせる)	頓了寺	鈴木訥叟		1点		183~260一括袋入。197は15/78。7月28日先代の御法会
198	書状(瞬之允一件の取計らい内容の報告)包紙共	武杏仙	鈴木惣之丞		1点	9月15日	183~260一括袋入。198は16/78
199	書状(御三人様之内ニ明日御出柏被下度)	近藤新三郎	鈴木惣之丞、関根基蔵、加藤善		1点	3月10日	183~260一括袋入。199は17/78
200	書状(郷中諸入費仮割当の分儲ニ入手)	近藤	鈴木惣之丞		1点	12月19日	183~260一括袋入。200は18/78。金5両3分
201	書状(参堂一大事に際してのご援助に対する礼状)	近藤 拜	鈴木尊兄		1点	5月9日	183~260一括袋入。201は19/78。返歌「いとわまし 年の浪よるとしほ草の かれらになる 筆の恥とも」
202	書状(実家への厚情に対しての礼状)封筒共	陸軍伍長 峯越産處	蔣沢邨 鈴木惣之丞		1点	5月14日	183~260一括袋入。202は20/78。昇進のこと鎌倉表野宮伝習の模様を記す

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
203	書状(時候の挨拶と無音信の謝り状)封筒共	青山慈昭寺 禅忠	鈴木順之允		1点		183~260一括袋入。203は21/78。「維新以後百事変革日夜戦競欲情之法燈又再明漸々安居、勉勵」
204	書状(御花、御菓子の贈物に対する礼状)	頓了寺	鈴木訥叟		1点	7月31日	183~260一括袋入。204は22/78。裏に古志郡四郎丸西方寺についての下書きあり
205	拝答(一筆限帳の書出しを指示して欲しい)	近藤新一郎	鈴木摠一郎		1点	6月24日	183~260一括袋入。205は23/78。管内割高壬申5月書上人員
206	覚(金2朱5分 帆立貝30)	柳原 忠七	かつほ村 鈴木様後家来中	切紙	1点	亥5月12日	183~260一括袋入。206は24/78
207	書状(当惑しているので来訪されたし)	蓮光寺	鈴木様		1点	22日	183~260一括袋入。207は25/78。隠居補裏
208	書状(元与荷米金之分の請取の写し)	近藤新三郎	鈴木惣一郎		1点	2月28日	183~260一括袋入。208は26/78。組入用割之儀
209	書状(病気の見舞)	大久保愚斎	鈴木御老君		1点	6月25日	183~260一括袋入。209は27/78
210	書状(御青翰惠送の御礼)	於赤沼 光井隆都	かつほ 鈴木御老人様		1点	7月3日	183~260一括袋入。210は28/78。柏崎県消滅の件に触れている
211	書状(兼て依頼した案文を届けてくださった礼状)	清水	鈴木様		1点	11月12日	183~260一括袋入。211は29/78
212	奉伺上候事(地租改正につき伺)	四ツ屋村用掛 田崎儀右衛門	地租某		1点	明治7年11月	183~260一括袋入。212は30/78
213	書状(事件割高帳拜見返上仕候)	風間	鈴木様		1点	6月30日	183~260一括袋入。213は31/78
214	書状(御尋問之處近日取調御答可仕候)	田中泰蔵	鈴木訥叟		1点	1月23日	183~260一括袋入。214は32/78。唧筒の読みはヨクワと知らせている
215	書状(愚妻に御教示くだされたい)	三無拝	翁輔大人		1点	5月10日	183~260一括袋入。215は33/78。御当流後生大きらい、禅宗大好物
216	書状(十六日の書状を拝読しての返書)	近藤新三郎	鈴木訥叟		1点	2月18日	183~260一括袋入。216は34/78。学校資本金、郷倉、生徒の学齡
217	書状(両品御惠贈の御礼)	内藤	鈴木様		1点	4月26日	183~260一括袋入。217は35/78
218	書状(何より之珍物種々御贈被下)	頓了寺	鈴木訥叟		1点	3月25日	183~260一括袋入。218は36/78
219	書状(願書下案に対する返事は後日に)	杉沢 土田蔵之丞	かつほ 鈴木訥叟		1点	10月20日	183~260一括袋入。219は37/78。6ヶ年物成書上之事
220	書状(抜書にて恐縮ですが御訂正の願)	町井	鈴木様		1点	11月8日	183~260一括袋入。220は38/78。序語ハ当村分校助教師田中氏ニ而含

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
221	書状(農業全書之内6789の4冊差上げる)	浦瀬村 町井作	かつほ沢村 鈴木様		1点	9月27日	183~260一括袋入。221は39/78。利益ヲ得ハ梅柿之2樹ニ及ふ物無由
222	書状(坊守がご馳走になったこと等の礼状) 附紙あり	頓了寺	かつほ 鈴木訥叟		1点	4月26日	183~260一括袋入。222は40/78。何より之神書神品ヲ御送被下重々難有…」
223	拝稟(ご依頼の学則差上申候)	稲田長照	鈴木訥叟		1点	明治5年7月15日	183~260一括袋入。223は41/78。外山修造之手紙一寸入御一見候
224	包紙「鈴木先生 稲田より」奉復				1点		183~260一括袋入。224は42/78。中身なし
225	書状(御約束申上候口案巻冊差上申候)	光伝寺	寿々幾旦那尊		1点	9月21日	183~260一括袋入。225は43/78。寿々幾=鈴木
226	書状(19日昼御法事執行、御焼香可仕) 紙縫共	宮嶋忠伯	鈴木訥叟		1点	9月6日	183~260一括袋入。226は44/78。上段1~2字切れていて、意味不明
227	書状「口上」(新保頼母子之儀当節)				1点		183~260一括袋入。227は45/78。「醤油之書付難有奉謝上候」「尚頼母子一ヶ月延矢張26日可然哉」
228	書状(旅行より無事帰還お祝い状 下書)	鈴木訥叟	父上様 兄様 朴民 季弟様 誠七		1点	6月13日	183~260一括袋入。228は46/78。「折角御疲労御自愛偏に祈り上候」
229	書状(此間は吐血も有之よし、見舞状)	水沢宗一郎	鈴木訥叟		1点	6月16日	183~260一括袋入。229は47/78。「鰻少々并羊かん共見廻りの印しまて」
230	書状(大暑之砌御不快別而御難儀奉察上候) 紐共	本多朴民	鈴木訥叟		1点	6月27日	183~260一括袋入。230~234一括(紐でくられていた) 230は48/78、1/5。御見舞之印迄粗葉并京土産
231	書状(道三郎一件(離縁)の現状報告)	本多弥一左衛門	鈴木訥叟		1点	6月27日	183~260一括袋入。230~234一括(紐でくられていた) 231は49/78、2/5。「日本政記」
232	書状(見舞状、先回より御不快之由極暑中如何様…)	明田川昭徳	鈴木訥叟		1点	6月23日	183~260一括袋入。230~234一括(紐でくられていた) 232は50/78、3/5。乍御見舞鳥渡参上可仕心得…
233	書状(承れハ御ぢ様先日より御ふくわへのよし…)	はま	寿々木御あば様		1点	6月27日	183~260一括袋入。230~234一括(紐でくられていた) 233は51/78、4/5

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
234	書状(御見舞として貰った上方土産に対する礼状)	かつほ 内より	かみの 御内さま、御あねまいる		1点	6月27日	183~260一括袋入。230~234一括(紐でくくられていた)234は52/78、5/5
235	書状 尊答(父全快同様)	水沢泰三			1点	6月21日	183~260一括袋入。235は53/78。上野兄上者郷倉悶着一件
236	書状(幸便に付々々口上)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	6月16日	183~260一括袋入。236は54/78。私共3人壮健にて昨15日才津迄着いたし
237	書状(保子の祝に手製の絵の贈与に対する礼状)	水沢乗一郎	鈴木惣之丞		1点	4月1日	183~260一括袋入。237は55/78
238	書状(早々口上生姜之しぼり汁を加へ日々用候へ)	才津 高橋三郎	鈴木訥叟		1点	6月15日	183~260一括袋入。238は56/78。御不快之趣
239	口上書(明朝参上委細御咄可申上候)	木村甚中	鈴木訥叟		1点	6月21日	183~260一括袋入。239は57/78
240	書状(御見舞としての沢山の品々を賜っての礼状)	みつ沢 内より	すつき 御内		1点		183~260一括袋入。240は58/78
241	書状(悔やみに御つかへと御香資の賜りに対する礼)	あはふす ふえ	かつほ 惣之丞		1点	8月1日	183~260一括袋入。241は59/78
242	書状(御米倉之事件の動きを知らせる)包紙・紐共	本多民也	鈴木惣之丞		1点	10月9日	183~260一括袋入。242は60/78。庚午録、日誌、南参事、知事公
243	書状(才津の母、いなばの御姉様臨月)2点	はま子	上の		1点	11月14日	183~260一括袋入。243は61/78
244	御廻米中札入用割合、組頭寄合	かつほ沢村			1点		183~260一括袋入。244は62/78
245	見付用(上ヶ針一本 外)			切紙	1点		183~260一括袋入。245は63/78
246	覚(米、汁、らふそく代金百疋)			切紙	1点		183~260一括袋入。246は64/78
247	疾中口上(水沢氏家跡相談)廿一日御内談(即死人)				1点	12月21日	183~260一括袋入。247は65/78
248	口上(御薩追々血症快方)	鈴木訥叟			1点	6月23日	183~260一括袋入。248は66/78
249	文通案「乍憚口上」(一乱之後御在所も不奉存)	惣之丞	深津		1点	己巳1月9日	183~260一括袋入。249は67/78
250	書状(水沢氏之儀・帳類・屋敷土蔵)	鈴木惣之丞	蓮光寺		1点	辰12月20日	183~260一括袋入。250は68/78
251	書状(此ほとわ才津御そうじに御いでと御さっし)	長谷川内	鈴木惣之丞		1点		183~260一括袋入。251は69/78
252	書状(見廻之印迄懸御目)	水沢宗一郎	鈴木訥叟		1点	6月25日	183~260一括袋入。252は70/78
253	書状(地券一条、与板にて之御談心配)封筒共	水沢宗一郎	鈴木訥叟		1点	8月29日	183~260一括袋入。253は71/78
254	書状(宮川への渡物、染物代之儀)	水沢宗一郎	鈴木訥叟		1点	9月26日	183~260一括袋入。254は72/78
255	書状(御病体如何被為在候哉)	水沢誠也	鈴木兄上		1点	6月	183~260一括袋入。255は73/78
256	書状(道半三郎殿より代筆いたしもらへ候へ共)2点	水沢内	す々木御内		1点		183~260一括袋入。256は74/78
257	書状(母君遂日御快復)封筒「御返し」書状(当組)	水沢誠也	鈴木兄上		1点		183~260一括袋入。257は75/78
258	大戦争先陣六騎)	本多八重門	鈴木惣之丞		1点	12月3日	183~260一括袋入。258は76/78

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
259	書状(暑気見舞として何よりの品々おくり下され)	専洞	鈴木様		1点		183~260一括袋入。259は77/78。代筆「試験の場所ハ8月8日始めて三条…」
260	書状(三十日に帰るのでその折お出かけ下され)	長谷川内	鈴木訥叟		1点	9月26日	183~260一括袋入。260は78/78
261	書状(今日者種々御取揃被成下難有奉存候) 紐共	本多道三郎	鈴木訥叟		1点	10月10日	今日大桶掃除相始め候
262	書状(さし入拙家下男共へ御心付、御返し申候)			切紙	1点		先日茂頂戴
263	書状(孫子帰り候ニ付銘々恩配意之段不思寄事ニ御座候)				1点		「西紙言状位」「素めん少々」
264	書状(新宅江御使何度之品御贈被下奉謝上候) 切紙共	本多朴民	鈴木訥叟		1点	12月12日	醤油代金50銭、書状の間に切紙1枚挿入「只今不相見候間後便差上」
265	書状(御めつらしき御ちうの中沢山に御めぐみ下さ)	本多内 はま	寿々木内 おぼ様		1点	9月20日	
266	書状(二十八日之御手帖昨午後拜見先以御安康) 封筒	鈴木訥叟	本多朴民		1点	8月31日	引越之件、御瘡之儀
267	書状(口上此程一件弥重門推参委細相話)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	9月12日	「ラリコッハヘ之年」裏に金銭のメモあり
268	引越一件			一紙	1点	乙亥9月6日	乙亥9月6日申合、一つ、9月15日引越之事、人数。一つ、荷送り、14日之事
269	書状(過暮ハ又昇堂毎度蒙御懇願奉拜謝候) 包紙共	高野誠彌	鈴木訥叟		1点	9月9日	269~271一括。269は1/3。「日延ハ大迷惑」「山屋ニテ傘3本買」
270	書状(昨日者誠也子御遣し被下殊ニ御細書之趣)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	9月9日	269~271一括。270は2/3。明朝15日引越之図り
271	書状(御引こしの事15日といふ事 外方より)				1点	乙亥9月	269~271一括。271は3/3
272	書状(残暑難堪御座候処、弥御清雅奉賀上候) 封筒共	上野 本多朴民	鈴木訥叟		1点	8月28日	「引越来月15日にいたし度」「漸飯米丈之身代ニ而」
273	書状(酷暑難当候得共弥御清敵殊ニ下も筋茶製法修業御廻国之由) 包紙共	上野 本多朴民	かつほ 鈴木訥叟		1点	7月30日	引越之儀も来月半頃之図、不手廻りに付下旬哉9月差入哉ニ御願
274	書状(叙次喧段暖相進候処愈御宇福可被成) 包紙共	高野誠彌	鈴木訥叟		1点	12日	274~276一括。274は1/3。「庄一儀本月8日原告御呼立」「訴状御ケ之旨被仰聞」朱書「高覧之後ハ火中被成下」
275	さし入(客人等御約束通り参候様いたし)			切紙	1点		274~276一括。275は2/3。只今にてハ請合かたく候
276	書状(如来示候所御清適珍重)				1点	14日	274~276一括。276は3/3。初筭并種々被贈。ノリハゲ
277	書状(此間は野婆数日御馳走ニ預り)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	5月17日	即今日迎之者差上候間御返し被下度候
278	書状(口上兎角不天氣勝、御用事困入奉候)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	5月14日	「茶并結納之仰迄左之通」開記之目録。ノリハゲ

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
279	書状(然ハ此程者愚母参上数日蒙御配意)	本多弥衛門	鈴木訥叟		1点	5月18日	迎之者参上申候間御返し被下度
280	書状(初先もしはたびたびむりの願へ申上さっそく)	才津 内より	かつほ 御内様		1点	12月31日	「引越は来7・8月ころ」「おはま、おやす」ノリハゲ
281	書状(今にちハとほみち御くろうさまながら御まち申上候)				1点	5月14日	差出宛先破損のため不明「おはまさまえも御くりあいされ御一しよいかづのむね」
282	書状(十八日のお手のみ拝見いたし十九日のあさ上のへ参り日かいりいたし候)	水沢 内より	すゝき 御内様		1点	12月21日	
283	書状(はゝ上りまし長々御ちさうにあつかり)	本多内 はまより	寿々木 御おばさま		1点	5月18日	今日むかへさし上候者さうさうおかへしされ度
284	書状(なによりの白菓沢山外に大の竹葉沢山送下さ)	みつ沢 内より	すゝき 御内さま		1点	5月	
285	書状(御はんたの御中よりわざわざ御つかえ下され)				1点		引越の時ハ御こし下され度候。母よりもくれくれ申上まいらせ候
286	書状(此程はま事にあたたかに成ましいつかたも花さかりにて) 後欠				1点		松の山のやくしへまでくわんかけ
287	書状(候半とかけなからおさし申をりまいらせ候)	才津 内より	かつほ 御内様		1点		日けんは10日すぎより30日ころまでの内いつでも
288	書状(今日は御はんたの御中よりさうきゝとして宜遣し下され) 包紙共	水沢内	すゝき 御内		1点	3月	288~289一括。288は1/2。母上へのこねんの入せられ御見まい送り下され
289	書状(さし入申候うつくしき花々沢山御送り下され)			切紙	1点		288~289一括。289は2/2。
290	書状(過る候得者、弥右衛門上りまして御ちさうにあつかり)				1点		おはかさま御ころび遊ばさ候よきつく事もおはしまさず候や
291	書状(宮川へきておりそのむね申遣し候)	みつ沢 内	すゝき 御内		1点	5月1日	やめても参るとのことにて
292	書状(此程はさいにいりまことに寒さ故) 包紙共	才津 内	かつほ 御内		1点	2月12日	「せつかく御やう生なされはやく御くわいきの程」
293	書状(此程ハ参上種々御馳走相成千萬難有)				1点	9月9日	14日昼後ニ御出被下新宅下男并雇人ニハ壹朱ニ扇子御付可被下
294	書状(被御聞候蝙蝠傘過日拝見之分品切候ニ付)	鈴木訥叟	高野誠彌		1点	9月9日	同直3分3朱之分3本可奉指上様申付置候
295	書状(御ことおほの御中御つかひことに) 紐共	かつほ 鈴木 2人	才津 水沢 あねうへ様		1点	12月26日	295~297一括。295は1/3。つきましてハ御しんせつへたいしいつれとも御まかせ
296	書状(せんもし御たまとの御入)	すゝき 内	水沢 御あね上さま		1点	12月15日	295~297一括。296は2/3。をりふしるすにておかへしもゆきちかひ
297	さし入(ちょっと御はつかしなから口上)			切紙	1点	26日	295~297一括。297は3/3。これはひとつよくよく御しやうちおき下されたく

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
298	(石油会社株券空売買、将来大害毒ヲ陳シ以テ当路者ノ猛省注意ヲ乞ハス)	鈴木訥叟			1点		複写資料No. 72
299	袋「家居小補袋」				1点	明治2年3月	299~331一袋。299は1/33
300	粗図			切紙	1点		299~331一袋。300は2/33。小々、入口、忒間
301	部分図(道路の幅、長さの記入)				1点		299~331一袋。301は3/33。夜番小屋、石垣高5尺3
302	覚(御屋根 忒捉壱坪代) 紙縫共	石内新小路 清八	かつぼむら 旦那様		1点	1月16日	299~331一袋。302~313一括。302は4/33、1/12
303	覚(壱朱五分 鉄丁違壱組)	野口屋 三十郎	かつぼ村 鈴木様	切紙	1点	午年4月19日	299~331一袋。302~313一括。303は5/33、2/12。印「北越長岡柳原町 萬金物 野口三之丞」
304	二かいらんまの図				1点		299~331一袋。302~313一括。304は6/33、3/12
305	覚(金壱両二分 大三寸五包)	たばこや 伊右衛門	かつぼ村 鈴木様	切紙	1点		299~331一袋。302~313一括。305は7/33、4/12。印「井越長岡煙草伊 呉服町」
306	覚(表かへ置共47枚半)	置屋代 忠助	旦那様	一紙	1点	4月4日	299~331一袋。302~313一括。306は8/33、5/12。×直し18枚
307	覚(金壱兩ト百文 大4寸壱盆)	たばこや 伊右衛門	かつぼ村 鈴木様	切紙	1点	午年3月22日	299~331一袋。302~313一括。307は9/33、6/12。印「越長岡 煙草伊 呉服町」
308	覚(金1兩1朱750文 大3寸5)	細具屋 伊左衛門	鈴木様	切紙	1点	午年2月26日	299~331一袋。302~313一括。308は10/33、7/12。金2兩1朱1貫430文請取
309	覚(金1兩1朱ト750文 大3寸5)	銅屋 伊左衛門	鈴木様	切紙	1点	午年2月17日	299~331一袋。302~313一括。309は11/33、8/12。請取
310	覚(3月8人半、4月3人又四郎)			切紙	1点	午年5月6日	299~331一袋。302~313一括。310は12/33、9/12。大工又四郎払書付
311	覚(1朱百文 4寸釘50本)	鍋屋 又左衛門	鈴木様	切紙	1点	2月17日	299~331一袋。302~313一括。311は13/33、10/12
312	覚(金1兩3朱壱貫文 上四分板)	金四郎	かつぼ 鈴木様	切紙	1点	午年3月	299~331一袋。302~313一括。312は14/33、11/12。受領証
313	書状(先比者種々預御面紛奉謝候)	かつぼ 鈴木	神田 山久様		1点	午年5月8日	299~331一袋。302~313一括。313は15/33、12/12。急用、から紙の張替依頼、法事23、4日執行之図

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
314	覚(3両3分、唐紙5本)紙帯共	山城屋 孫八郎	かつぼ沢村 鈴木様	一紙	1点	2月晦日	299~331一袋。314~319一括。314は16/33、1/6。但し銀直ニ御座候札ならハ壹割引
315	覚(銀3両也)	山城屋 孫八郎	加津ほ村 鈴木様	切紙	1点	3月10日	299~331一袋。314~319一括。315は17/33、2/6。受領証
316	覚(3両2分也)	山城屋 孫八郎	かつぼ沢村 旦那様	切紙	1点	3月2日	299~331一袋。314~319一括。316は18/33、3/6。受領証
317	書状(御手紙奉啓上候然者段々御)	山城屋 孫八郎	加坪村 旦那様		1点	3月8日	299~331一袋。314~319一括。317は19/33、4/6。先日之給金御願申上度候
318	書状(昨日御手紙被下候処こふろく内法2尺7寸)	山城屋 孫八郎	かつぼ村 鈴木様		1点	2月23日	299~331一袋。314~319一括。318は20/33、5/6。2尺6寸間ト承り此寸法ニ而建具ヤ江注文
319	覚(金壹両也)	山城屋 孫八	かつほむら 鈴木	切紙	1点	午年5月4日	299~331一袋。314~319一括。319は21/33、6/6。
320	目論見ひさし普請大図り紙縫共				1点	己巳3月	299~331一袋。320~331一括。320は22/33、12/1。新廂坪図都合21坪
321	順吉示談			切紙	1点		299~331一袋。320~331一括。321は23/33、2/12。来5月迄引越同様之事。伐木日取
322	芹沢伐木			切紙	1点	巳2月10日	299~331一袋。320~331一括。322は24/33、3/12。杉1本廻り4尺5寸
323	辛未之春再興廊下之図			切紙	1点		299~331一袋。320~331一括。323は25/33、4/12。
324	長谷川氏小高札之図			一紙	1点		299~331一袋。320~331一括。324は26/33、5/12。長さの入った図画
325	じゃうし注文			一紙	1点		299~331一袋。320~331一括。325は27/33、6/12。ふちいろつきも黒之安ぬり
326	間取図				1点		299~331一袋。320~331一括。326は28/33、7/12。付紙あり、部屋名広さ記入
327	からかみ注文				1点	己巳2年	299~331一袋。320~331一括。327は29/33、8/12。但ふる戸共ふち皆くろ、略図あり

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
328	己巳3月遣し 家居小補図				1点	己巳2年3月	299~331一袋。320~331一括。328は30/33、9/12。家見取図
329	己巳3月製 家居小補図				1点		299~331一袋。320~331一括。329は31/33、10/12。裏に四阿図あり
330	明治2年己巳3月改 家居小補之図				1点		299~331一袋。320~331一括。330は32/33、11/12。間取図黒ハ唯今在形朱ハ新補目算附紙あり
331	転遷道川覚				1点		299~331一袋。320~331一括。331は33/33、12/12。5人
332	書状(奉拝見候饗応記いろいろ見物人)紙帯、紙縫共	水沢銀輔	鈴木惣之丞		1点	11月22日	332~352紙帯一括。332~333紙縫一括。332は1/21、1/2。混雑中長々と御細工感心仕候。再啓粟生津之件
333	枳堀饗応記案				1点	明治2年11月	332~352紙帯一括。332~333紙縫一括。332は2/21、2/2。11月17日払暁出立
334	書状(文よりして申上参らせ候、幾千代みての御いわひめでたくぞんじ参らせ)	かつほ れん(すすき内)	とちぼり あね上さま(うへむらはは・内)		1点	11月24日	332~352紙帯一括。334は3/21
335	書状(御状拝見陳者お孫子首尾能)	水沢	鈴木惣之丞		1点	11月22日	332~352紙帯一括。335は4/21。御祝いの餅を貰っての礼状
336	覚(金3朱175文わた2まい350文とぎちん 外)2枚綴	かつほや			1点	11月~12月	332~352紙帯一括。336は5/21
337	覚(金2両3分3朱也 桐めん長持1本)	同心町 房次郎	上	切紙	1点		332~352紙帯一括。337は6/21
338	覚(せん子箱3本入、白扇3本)	かつほ 鈴木			1点	巳年11月16日	332~352紙帯一括。338は7/21。2・3日中入用品取極
339	覚(銀1分2朱請け取)	千手 御籠屋(葛籠屋) 衆	かつほ村 旦那様		1点	11月5日	332~352紙帯一括。339は8/21
340	書状(過日被為遣候薬取寄置候ニ付)	清水	鈴木		1点		332~352紙帯一括。340は9/21。裏支出扣
341	書状(見事之祝餅一重)		鈴木惣之丞		1点		332~352紙帯一括。341は10/21
342	口上(さらし帷子、小紋紛門綿入2枚遣申候)	老婆	おれうとの	切紙	1点	11月9日	332~352紙帯一括。342は11/21
343	書状(此ほとハあなたがたの御くろうをさそかしあらうと存し)	れうより	をれんさま		1点	11月	332~352紙帯一括。343は12/21。裏、鈴木惣之丞より植村新助宛の書状下書き
344	覚(拾八匁、綿入3枚)	大坂屋 兵右衛門	鈴木	切紙	1点	11月13日	332~352紙帯一括。344は13/21。此金壹分3朱内58文引、11月22日受領

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
345	覚(黒口目漆 目方20目)	うるしや 平蔵	かつぼ すゝき 様	切紙	1点		332~352紙帯一括。 345は14/21。代金1貫 800文
346	覚(札 3貫百十文、まんち うや 市十郎)			切紙	1点		332~352紙帯一括。 346は15/21。右之処金 壹両貳朱、せん五百文
347	覚(まんちう25文宛、数 110、代2貫750文)	呉服町 まんち うや 市十郎	上	切紙	1点		332~352紙帯一括。 347は16/21。×3貫10 文
348	覚(490文 下駄鋸打1寸2分 70本)	長岡柳原町 萬 金物肆 野口三 之丞	かつぼ村 鈴木	切紙	1点	己年11月16日	332~352紙帯一括。 348は17/21。×940文 此金2朱内310文引
349	覚(金壹分 金米糖1斤)	紅屋 庄五郎	かつぼ村 鈴木		1点	己年11月16日	332~352紙帯一括。 349は18/21。印「越後 長岡紅屋」
350	目ろく・仮もく録(上下・ こんふ・鯉ふし・するめ・ 御たる)	鈴木惣之丞	阿部伝左衛門		1点	己巳11月16日	332~352紙帯一括。 350は19/21
351	覚(銀13文匁 上々扇子箱3 本入)	八百屋 忠助	上様	切紙	1点	11月16日	332~352紙帯一括。 351は20/21。×銀16匁 9分此金1分1朱内309文
352	覚(預り金払、大坂屋・漆 屋・川越屋・まんちうや)				1点		332~352紙帯一括。 352は21/21。金1両2 朱、札1両1分2朱、銭 500文
353	常会彙報 封筒共	古志郡山本村役 場	鈴木竹之助	新聞	1点	昭和14年8月1日	353~354一括。353は 1/2。常会彙報は新潟 県発行。「戦時国民生 活十戒」「銃後の譲り 生産確保」
354	国民精神総動員実施計画 封筒「下野国日光山保晃 会」書状(拝啓近日春暖相 催候処愈)	新潟県		冊子	1点	昭和14年6月	353~354一括。354は 2/2。「本県トシ主力ヲ 注グベキ国民精神動員 運動の方策」
355	保晃会員之証 第687号	藤岡正	鈴木訥叟		1点	3月23日	355~357一括。355は 1/3
356	保晃会員之証 第687号				1点	明治20年12月15 日	355~357一括。356は 2/3。裏面に注意事項 あり
357	御承知可被下候	日光山 保晃会	鈴木訥叟		1点	明治20年12月15 日	355~357一括。357は 3/3
358	書状(愈々寒相進候処倍御 健奉敬賀候)端紙紐共	川上喜右衛門	鈴木惣之丞		1点	11月11日	358~363一括。358は 1/6。泰西農学初編、2 編、大参事、栃尾分覺
359	覚(米50俵也 米屋庄蔵よ り)	上御蔵 柳町 勘平・堤 戸左	北御蔵		1点	辰5月3日	358~363一括。359は 2/6
360	去卯10月23日出(米50俵)				1点		358~363一括。360は 3/6。当村2人、槇山村 5人計米50俵
361	書状「口上」(15日之御状 21日拝見)				1点	12月22日	358~363一括。361は 4/6。50俵米無御掛念 時宜次第御駈所皮用奉 存候
362	御段建志(金貳両也)	掛 永閑寺	鈴木翁助		1点	未10月10日	358~363一括。362は 5/6

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
363	書状(当8日本山曹源寺より差紙に付暮合ニ)	かつほ沢村 龍昌庵			1点	7月10日	358~363一括。363は6/6。寺社奉行。木切候ニ付貴寺隠居致し候様、波多八郎兵衛御内々御糺し被下置候様
364	包紙「鈴木惣之丞様 川上喜右衛門」書状(以手紙致啓上候愈々寒氣相催候処)紐共	川上喜右衛門	鈴木訥叟		1点	10月18日	364~372一括。364は1/9。植村氏へ嫁いだ息女離縁となり荷物引取り依頼
365	書状(寒冷え節皆様愈御安勝奉賀候)	鈴木訥叟	関地甚蔵、近藤繁次郎		1点	辛未10月10日	364~372一括。365は2/9。書社基建の趣意を草案した。来月上旬基建
366	端書(六字名号一遍法)				1点		364~372一括。366は3/9
367	書状(御懇書拝誦時下寒冷相成候)下書	鈴木惣之丞	川上喜右衛門		1点	10月18日	364~372一括。367は4/9。表書き「庚午10月18日勝子離縁ニ付小向川上氏へ返書」
368	書状(時下寒光相加候処)下書	鈴木惣之丞	植村新助		1点	10月21日	364~372一括。368は5/9。表書「庚午10月21日栃堀植村とのへ」
369	書状(御紙面之趣何と申上無言早に別るゝ)	植村新助	鈴木惣之丞		1点	10月21日	364~372一括。369は6/9。拝顔之上申述度以寸輸如此御座候
370	書状(新御法主御帰朝御直命并随行之方々)	武樋静琳	鈴木訥叟		1点		364~372一括。370は7/9。道中記。豊太ノ一件
371	書状(此間者御懇之貴墨辱拝見不取敢)	川上喜右衛門	鈴木惣之丞		1点		364~372一括。371は8/9。「入札選挙ヲ評」とし選挙すべしと記す
372	壬申六月五日之記(予頃日喀血数次医療指揮頻りに加ふていへとも)	鈴木訥叟義順			1点		364~372一括。372は9/9。訥叟義順病間識「卒致之変測りかたし」
373	田地分々地/訴済口/答書写紐共	原告人 駒形清九郎、代書人 鷲尾忠八	新潟県令 楠本正隆		1点	明治7年11月25日	373~400一括。373は1/28。田地壹軒前、此入付米14俵
374	田地分々地訴済口口答書	原告人 駒形清九郎、被告人 高野清七郎	新潟県令 楠本正隆	横帳	1点	明治7年11月25日	373~400一括。374は2/28。高野清七郎(指入一札之事)、駒形清九郎(指入申一札之事)
375	約定違変訴状 下書 紐共	川崎村 高野清七郎、養孫 高野誠次	新潟県令 楠本正隆		1点	甲戌12月17日	373~400一括。375は3/28、1/5。同年11月の内済が守れなく訴えとなる。駒形清九郎相手取訴状案
376	乍恐口上之覚	古志郡川崎村 高野清七郎			1点	甲戌11月13日	373~400一括。375~379一括。376は4/28、2/5。表書朱書「川駒」甲戌11月13日川崎村高野氏件

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
377	以書付奉願上候	駒形清九郎	長岡御分局 地 税改正御掛中		1点	明治7年11月3日	373~400一括。375~ 379一括。377は5/28、 3/5。本途92軒=分ヶ割 壱軒前徳米14俵。後半 に「為取替申田地懇談 書之事」
378	書状(態々参上御願申上度 候処小子長岡)	鈴木訥叟	加藤躰		1点	12月14日	373~400一括。375~ 379一括。378は6/28、 4/5。表書朱書駒形甲 戌12月川崎一件。
379	書状(拝見一件御案し之通 り存候哉之事)	念覚寺	鈴木訥叟		1点	12月7日	373~400一括。375~ 379一括。379は7/28、 5/5。表書朱書「川 駒」
380	切紙(村並田地壱軒前)				1点		373~400一括。380は 8/28。此入付米14俵
381	記(駒形御所持之証文私共 同人より手に入)	立入 矢島久五 郎	立入 星野兵七 郎	一紙	1点	明治7年11月25日	373~400一括。381は 9/28。金30両右者駒形 清九郎分
382	書状(新禧之御慶者近日期 参拜申上度)	高野誠彌	鈴木訥叟		1点	1月4日	373~400一括。382は 10/28。兵次郎
383	記(金三步三朱 礼鳳壱 丁)紐共	小村屋	かつほ 鈴木		1点	戌12月13日	373~400一括。373~ 385一括。383は 11/28、1/3。受領証
384	覚(金壱分ト百文上手丸一 ツ)	提灯屋 勇吉	鈴木		1点	戌12月	373~400一括。383~ 385一括。384は 12/28、2/3
385	川崎一件入用記			一紙	1点	甲戌12月	373~400一括。383~ 385一括。385は 13/28、3/3。金銭出納 記録12月7日より12月 16日
386	(村並田地壱軒前)				1点		373~400一括。386は 14/28。此入付米9俵文 久2年駒形養父より高 野清七郎江讓ル
387	書状(雲翰口際書而嗽誦愈 御安泰之旨)	高野誠彌	鈴木訥叟		1点	3月10日	373~400一括。387は 15/28。駒形氏婚儀本 月6日相整
388	書状(五日御染書十日御追 記之鳳簡十日黄昏)	高野誠彌	鈴木訥叟		1点	11月12日	373~400一括。388は 16/28
389	書状(此程ハ大さうのあれか いたしまし候間風とも御ひ きなされませづや)	上の れん	かつほ 御は 上さま		1点	12月8日	373~400一括。389は 17/28。本家おていさ ま
390	書状(御ねんもしの御口つ さ下されことにゆずおめぐ み下され)	本多はま	寿々木 御おば さま		1点	12月13日	373~400一括。390は 18/28。おれんさま
391	書状(一筆口し上参らせ候 此ほとハちとひやゝかにおは しまし)	かつほ 御おば さま	上の はま		1点	9月27日	373~400一括。391は 19/28。おれんさま、 ひざ直し
392	書状(千代度申上参らせ候 されや此ほとのはけしきあ つさ)	本多はま	寿々木 御おば さま		1点	7月29日	373~400一括。392は 20/28。御ちうもの ちちのくすりひとまわ りさし上

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
393	書状(御法会義何様御多忙奉察上候) 紐共	本多朴民	鈴木訥叟		1点		373~400一括。393~394一括。393は21/28、1/2。預品=御座候得共聊初通行之印迄
394	書状(拝見取上文明御高覧可被成下候)	大久保庄五郎	鈴木惣一郎		1点	9月24日	373~400一括。393~394一括。394は22/28、2/2。10月1日御屋前=而御法事御執行
395	書状(昨日は種々御念入之品々何共難有奉謝上候)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	9月16日	373~400一括。395は23/28
396	書状(拝見今日は御念被為入=何寄之銘餅沢山)	本多朴民	鈴木訥叟		1点	9月20日	373~400一括。396は24/28
397	書状(御返し、十七日書之御状即日拝見先日は始而新宅へ御出之処) 包紙共	本多朴民	鈴木訥叟		1点	11月22日	373~400一括。397~398一括。397は25/28、1/2。注文の醤油1升樽2、酢1升樽1の送り状。才津年始之儀1月10日頃
398	書状(前回は始て御出倒之処彼是困難仕居)	本多道三郎	鈴木訥叟		1点	明治8年11月22日	373~400一括。397~398一括。398は26/28、2/2。多忙=付口伸、酢、醤油3樽さし上げる。
399	書状(婚姻首尾能相整御同慶大悦=)	本多弥市右衛門	鈴木訥叟		1点	9月18日	373~400一括。399は27/28。書状上部欠
400	書状(さし入参らせ候今日はせはしさをもかへりみ)	上の れん	かつぼ 御母上さま		1点	12月13日	373~400一括。400は28/28
401	長岡用事 3枚綴	鈴木	米屋 三六		1点	乙亥9月12日	3枚綴、買物控、請求書
402	記(金2円の受取証)	山や 名平	鈴木		1点	9月12日	
403	記「受領書」(1円3分2朱80文)	山や 名平	鈴木	一紙	1点	9月18日	
404	長岡用事				1点	9月18日	炷、汁わん、かもやの紙、その他ハズレ紙1枚
405	記(1円67銭8厘5毛 受領書)	山や 名平	鈴木	一紙	1点	9月8日	ハズレ紙1枚
406	長岡用事(買物炷)				1点		手ぬぐひ地1反 西紙1束等
407	包紙「川崎村高野清七郎殿御縁談媒酌一卷」ひも共				1点		407~413一括。407は1/7。実家之弟、河西才津水澤誠弥。附：川崎村駒形氏清九郎訴答條々書類
408	書状(朱「川崎武庄平一件」至急) 紙紐共	高野誠彌	鈴木訥叟		1点	4月22日	407~413一括。408~410一括。408は2/7、1/3。知裏拝借支度小熊屋迄御拝駕被下置候
409	書状(朱「庄平一件」此上ながら御出張之程前以奉願上候)	誠弥	かつぼ兄上様		1点	4月30日	407~413一括。408~410一括。409は3/7、2/3。右今日迄之一箋如此=御座候

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
410	書状(庄平一件 別紙在中)	鈴木	高野		1点	23日	407~413一括。408~410一括。410は4/7、3/3。別紙「口上之記」一今般本村農武庄平より私被告として訴上候田地之件
411	郡中会所平図			一紙	1点		407~413一括。411は5/7。溜所の解説あり。町会所の図もある
412	書状(朱「市忝件」霖雨達ニ御同様奉多用候 2通)	川崎 高野誠弥	かつほ 鈴木訥叟		1点	7月12日	407~413一括。412は6/7。別紙「24日認む誠弥」が含まれている
413	書状(幸便肅織拜啓殘熱却而倍極候)	高野誠弥	鈴木訥叟		1点	8月28日	407~413一括。413は7/7。市左衛門
414	書状(時下逐次寒光相進候処愈御安適可被成御座奉恐賀候) 3点封筒共	川崎 高野誠弥	かつほ 鈴木訥叟		1点	10月20日	済口別紙両通奉掛御目候①證 金8円也 明治8年 ②指入申一札之事 明治8年
415	書状(駒形一件違変可相成候よし)	水澤	鈴木訥叟		1点	12月4日	裏面に「明治7年11月四郎丸田地之儀伺書御附紙」とある
416	書状(川崎孫平一件 小熊屋出先草々拜啓、春光ハ乍申寒威) 紙紐共	川崎 高野誠弥	かつほ 鈴木訥叟		1点	1月24日	416~421一括。416は1/6。孫平との争い。示談に至る経緯を報告
417	書状(朱「川崎駒形孫平の一件」)	高野誠弥	鈴木兄上様		1点	11月20日	416~421一括。417は2/6。御安産の祝。紅葉製法附録後日、粟生津の婚儀。養家の訴訟一条
418	書状(只今帰宅之途中別紙到来)	かつほ 鈴木訥叟	川崎 高野誠弥		1点	1月24日	416~421一括。418は3/6。別紙「高野誠弥殿高野盛一郎殿、高野清七郎」早速御帰宅被下度
419	書状(朱「川熊」尊簡拜読仕候過日ハ段々預御教難有)	高野誠弥	鈴木訥叟		1点	1月17日	416~421一括。419は4/6
420	書状(朱「川孫」叙文ハ小笠原流ニ御箋紙奉申上候)	高野誠弥	鈴木訥叟		1点	1月13日	416~421一括。420は5/6。別紙1通「乍御六ヶ敷見附便ニ桂沢ニ御伝被下度奉願上候」
421	書状(今日者種々被入御念奉謝候) 包紙共	水澤宗一郎	高野誠弥		1点	1月16日	416~421一括。421は6/6。封の裏「尚々此状克仕廻可被下候」
422	書状(朱「川崎 市・忝件」属加藤氏帰村一簡拜啓愈御清適) 紙紐共	高野誠弥	鈴木訥叟		1点	7月13日	422~427一括。422は1/6。地券課裁判所上部一行分欠損
423	書状(朱「川崎 市・忝件」時下薄暑相進候処愈御安適可被成御座)	高野誠弥	鈴木訥叟		1点	6月19日	422~427一括。423は2/6。長谷川三男三郎紹介代書人、涌田佐太郎
424	書状(毎度昇館蒙御愛顧海岳奉拜謝候)	高野誠弥	鈴木兄上様		1点	6月23日	422~427一括。424は3/6。袴相受、拝借之裕、早速返上
425	書状(朱「川崎市太郎、忝次郎一件」大急用事拜啓一件2日)	川崎 高野誠弥	かつほ 鈴木訥叟		1点	6月5日	422~427一括。425は4/6。比洲分舎建設舎員武部静蔵、牧野市右衛門

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
426	書状(「緊用至急」先回ハ御 劇中昇館例之通蒙御懇 願)	高野誠弥	鈴木訥叟		1点		422~427一括。426は 5/6。武部静蔵、古正 寺教師ヲ辞シテ野頼 母、浦瀬ヲ辞シテ
427	書状(朱「川崎市・柰件」 頻々上堂縷々御配慮被下)	川崎 高野誠弥	かつぼ 鈴木訥 叟		1点	6月24日	422~427一括。427は 6/6。明朝発船出港
428	御通			横半帳	1点	昭和4年1月	1月19日めんす6尺5寸 81銭
429	醤油御通			横半帳	1点	昭和4年1月	ゴム印「新潟県長岡市 宮原町 池野忠吉」あ り
430	受取綴(127枚)			綴	1点	昭和4年	北越新報6月分95銭、 入学金1円50銭、財団 法人長岡実業女学校
431	長岡用事・覚・記・留守居記 附録等15枚綴			綴	1点	乙亥9月1日	留守居地附録村用地券 之用事
432	(文久元年自戒の言葉、新 古詩文書抜き)				1点		左氏伝杜序、言志録、 近思録、明倫歌集、古 今集、新古今集等
433	方所渋谷氏献立			横帳	1点	7月29日	本膳、小皿、二之膳等 の中身記載
434	(会計の収支明細書付 と じ紐なし)			横帳	1点		書付の裏に尻軽、人 足、馬などの記載あり
435	いぐさのようなもの一包 帯紙共				1点		
436	留守居帖	鈴木家		横帳	1点	明治8年3月	日廻り、金銭請払、紙 背に加州等の人馬継立 の記載あり
437	包紙「金六両」紙紐共				1点		中味なし。×金拾両也
438	包紙「金拾両つかわす」紙 紐共				1点	丁丑1月11日	438~440一括。438は 1/3。丙小10月よりは 是迄70円
439	包紙「金五円」				1点	丙子5月30日	438~440一括。438は 2/3。
440	包紙「金五円」	木村			1点	丙子8月29日	438~440一括。438は 3/3。
441	記(長岡参詣ニ付)			一紙	1点	7月17日	金2円70銭1貫500文の 収支
442	借用申金子之事(金20円 也)	金子借用主 鈴 木惣一郎	木村御内 おき を		1点	明治6年4月20日	
443	返書(うさい角承知仕候) 紙紐共	木村	鈴木		1点	2月15日	443~444一括。443は 1/2。鯉頭7つ代2貫文
444	指引記綴				1点	明治7年3月	443~444一括。444は 2/2。木村よりの請求 明細も共に綴られてい る
445	見附木村内より預り銭覚				1点	明治4年1月	端紙「正金7両2歩1朱 礼金9両3歩」はさまれ ている
446	見附木村内より預り覚 2枚 綴				1点	明治4年3月	附録
447	見附木村氏売稿之記 紙紐 共				1点	(明治9年)4月 30日	447~456一括。447は 1/10。金11円53銭縞ば た15反、3枚綴
448	見附木村氏より借用記			一紙	1点	(明治9年)5月 31日	447~456一括。448は 2/10
449	返書(御手紙之趣承知仕 候)	見附上町 木村	かつぼ 鈴木様	一紙	1点	7月24日	447~456一括。449は 3/10

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
450	書状(かねのぎは10月6日まで にさし上申候)	のぶ	御かさま	切紙	1点	9月22日	447~456一括。450は 4/10
451	記(土代金 177円)	中之崎 利八屋			1点		447~456一括。451は 5/10
452	口上(御葉かけんいたし候 間もし下り候ハ)	木村	鈴木	切紙	1点	(明治9年) 5月 26日	447~456一括。452は 6/10。見附木村氏さし 引
453	記(3貫240文1丈2尺)	のぶ子	鈴木		1点	2月21日	447~456一括。453は 7/10
454	書状(未々不得貴意候得共… 木村方賀養子之儀)	鈴木訥叟	宮嶋駒三郎		1点	8月13日	447~456一括。454は 8/10
455	見附はた金才津より			切紙	1点	9月	447~456一括。455は 9/10
456	預り申金子之事(金37円66 銭4厘也)	鈴木訥叟	見附町 木村御 内 おてを	一紙	1点	明治9年10月19日	447~456一括。456は 10/10
457	おぼえ(金2朱1貫720文)紙 紐共	みのや 仙蔵	上	切紙	1点	4月2日	457~466一括。457は 1/10。1貫400文おしろ へ
458	覚(女あわせ 3通り位)			切紙	1点		457~466一括。458は 2/10
459	さし入(惣猶餘色々いたし 見候得共無之候)	才津	了覚	一紙	1点	辛未4月8日	457~466一括。459は 3/10
460	書状(あまりあまりきうに て囃かし御取込に候はん と)	上野 はま	鈴木おば様		1点	辛未4月11日	457~466一括。460は 4/10。かり品紋付わた 入1枚
461	書状(おれん明日先方へ引 越候よし何条)				1点	4月8日	457~466一括。461は 5/10。土蔵普請
462	覚(金1両也)	とりや 銀右衛 門	鈴木様 御内衆 中		1点	4月1日	457~466一括。462は 6/10
463	覚(龍門 上下代 下品)			切紙	1点		457~466一括。463は 7/10。代金4両位也
464	覚(金1分也 縮緬紋)紙紐 共	米屋 三六	鈴木惣之丞	切紙	1点	未4月1日	457~466一括。464~ 465一括。464は8/10、 1/2
465	覚(4両2朱 御召単物)	柳原町米屋 三 六	かつぼ村 鈴木 惣之丞	一紙	1点	未3月15日	457~466一括。464~ 465一括。465は9/10、 2/2
466	覚(金2分3朱 銀両夫)	次屋 吉兵衛		一紙	1点	午8月14日	457~466一括。466は 10/10
467	書状(せんもじハ日和ふねの つがふもよろしく)	鈴木訥叟	おみずとの		1点	4月12日	裏面、金銭支出記載あ り
468	書状「お返し」(御念入大 筆稼両種被下何と)	泔老			1点	4月9日	
469	銭調記	訥叟	鈴木惣一郎	切紙	1点	乙亥9月2日	裏面、口上書あり
470	(旅の戌、五月六日日和1銭 のふそく)			切紙	1点		
471	金銭出納綴			横帳	1点		17枚綴、中に受領証も ある
472	書状(愈御多忙奉察上候、 然者今日者)紙紐共	大久保庄五郎	鈴木総之丞		1点	3月2日	472~483一括。472は 1/12。洪水見舞への礼 状
473	書状(暖氣之砌ニ御座候得共 弥御皆々様御壯健ニ)	大久保	鈴木		1点	3月3日	472~483一括。473は 2/12。法事ご出席の依 頼

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
474	書状(向暑之趣候処愈御 皆々様御壯健ニ可被成)	大久保	鈴木		1点	4月14日	472~483一括。474は 3/12。妻が願敬寺参詣 の節、御馳走になった ことの礼状
475	書状(残日あつさもややし のきやすく、其御もとみ な)	すゝき内	大くぼ御内		1点	己巳7月8日	472~483一括。475は 4/12。先日の訪問の御 礼とその折話されたこ とへの返答
476	書状(日々増春暖愈御皆様 御壯健ニ被成御凌)附箋共	大久保	鈴木		1点		472~483一括。476は 5/12。法事延期の知ら せ、裏面にも書簡あり
477	書状(取込仕義御めん可被 下候、然者一昨日)	大久保	鈴木		1点	3月24日	472~483一括。477は 6/12
478	書状(拝見御法會之儀御差 延之由承引仕候)	大久保	鈴木		1点	2日	472~483一括。478は 7/12。ご案内があれば 両人の内吉人くらゐ参 上することを知らせる
479	書状(今日者高安寺老新湯 帰り掛々拙宅へ御出候)			切紙	1点	2日	472~483一括。479は 8/12
480	書状(新春之御慶賀目出度 奉存賀候、御皆々様益々御 壯健ニ被為成)	大久保	鈴木		1点	1月7日	472~483一括。480は 9/12。裏面大久保庄五 郎宛鈴木惣之丞の書簡 あり
481	書状(御懇書忝拝見仕候、 如夜之冷氣之砌ニ御座)	大久保庄五郎	鈴木惣之丞		1点	8月19日	472~483一括。481は 10/12。御菓子や葡萄 の御礼
482	書状(態と以愚礼致啓上 候、追々差詰り御皆々様)	大久保	鈴木		1点	己巳11月	472~483一括。482は 11/12。相続につき高 安寺老人が訪問するの で相談して欲しい
483	(差入有合聊取入候得共 沈)			切紙	1点	11月	472~483一括。483は 12/12
484	書状(洗手拝見のは過日は 推参寛々預御馳走)	福順守	鈴木惣之丞		1点	4月1日	新聞書取之儀
485	覚(金拾貳両貳朱也)	柳原町 ならや 市郎治	鈴木惣之丞	一紙	1点	巳4月9日	11月不残請取申上候
486	覚(7両2朱3百文)	角屋 竹蔵	上	一紙	1点	4月9日	受取証
487	問合(日取之事、才津刈も の黒帯一すし)			一紙	1点		
488	書状(拝見雪際一入寒氣相 進候処、倍御健奉敬賀候)	川上喜右衛門	鈴木惣之丞		1点		問合せの件の返答書・ 餅之義餅米3俵植村ニテ 用意・紋の儀、紋の図 あり
489	仮茂久録	かつほ れん	とちぼり あね うへさま	一紙	1点		菓子1足袋1足、裏面問 取略図あり
490	金錢支払控				1点	11月15日~11月 16日	表裏に記載
491	書状(春寒...過日は何より の御土産御恵被下奉参謝)	鈴木惣之丞	川上喜右衛門		1点	午1月	
492	覚(銀六両三分也)	亀屋 儀左衛門	かつほ 鈴木惣 之丞		1点	10月22日	
493	覚(籠甲色付)	鈴木	うら丁 鳥屋		1点	10月22日	うら丁、鳥屋へあつら ひ
494	座席図			一紙	1点		
495	(植村氏蔵書之内 集義和 書5冊)			一紙	1点		席順図あり

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
496	覚(金三分三朱也 極上女鮭)	肴屋 藤左衛門	鈴木様	切紙	1点	10月26日	
497	覚(銀6両2朱 小袖はかけ一枚)	越中屋 清四郎	おやじ様	切紙	1点	10月24日	受取黒印あり
498	口上(とものら内 壱ツ代1分3朱)	木村主仲	かつぼ沢 鈴木様	切紙	1点		
499	(受取証 金6両1朱)	春米や 治兵衛	かつぼ様	切紙	1点	10月24日	
500	結納引受		川上喜右衛門 供		1点	10月26日	後、夕膳の献立、引出物の内容
501	覚(金10両1朱也)	かみや 源兵衛	木村	切紙	1点	11月4日	受領証、黒印あり
502	覚(たんす古之事、はりつづら一番)			切紙	1点		17品目と数量記載
503	覚(二十九包のり入)	鳥屋 十左衛門	かつぼ 鈴木様 御内衆中		1点	10月25日	品物と値引の紹介、練子用の記載あり
504	覚(4百6貫7匁)	与板屋		切紙	1点	11月5日	與板屋黒印あり。受取証
505	覚(壱貫七百文也)	津右衛門	上様	切紙	1点	巳11月5日	受取証
506	(金壱朱也 貳百四十五文引)			切紙	1点		受領証
507	覚(ひき壱両三分、内壱分取)	田沢屋	すゝき殿	切紙	1点		
508	覚(貳百七十文 ふしつほ一つ)			切紙	1点		
509	10月21日22日買物覚(金壱分 田沢屋)				1点	10月	越中屋、かめ屋、くし屋、青木屋
510	口上(拾両壱朱 唐京武かま)	木村甚仲	鈴木様	切紙	1点	11月6日	
511	口上(綿金新宅唐京代金壱両札)	木村立仲	鈴木様	切紙	1点	11月4日	代金請求
512	(うら丁 鳥やへ遣しもの)				1点		店名、品名とその量記載
513	覚(十錢包 金銀水引三書状(文して申上参らせ候、時なからめきと寒さ)	小村や 平衛	上		1点	巳10月26日	受領証
514			才津 嫂		1点	明治2年11月	御縁談が決まり御祝儀の添状
515	覚(金五両也)	絹屋 作兵衛	かつぼ村 鈴木		1点	己10月28日	受領証
516	書状(春寒之候御座候処愈御勇健被成)	垣村新助	鈴木惣之丞		1点	1月27日	おりやう里帰り、20日立つたら御返してください
517	覚(長9寸4寸 大壱番)	蔵宮	上	切紙	1点	11月4日	黒印あり「長岡千手籠屋木八」
518	吉日(十一月四日、十七日)			一紙	1点		祝儀の内容と与える人数、宿札
519	覚(打綿 こさ付 数15)	幸右衛門	かつぼ村 旦那	切紙	1点	巳11月4日	請求書
520	覚(七両五分 運銭とし)	鳥屋 銀平	鈴木様 御内衆		1点	11月10日	あせ引之儀
521	払覚(暮払金拾壱兩三分)			一紙	1点	10月23日	うら丁亀屋 儀右衛門、神田脂屋安兵衛
522	覚(金貳分 両面五布風呂敷丈ケ 7尺5寸)	こんや 健十郎	鈴木様	一紙	1点	10月20日	
523	十一月四日(九百文 供かさ三)			切紙	1点	11月4日	
524	口上之覚(私義素より不遠慮之処去夏以来)	鈴木惣之丞	枳堀 植村		1点	4月1日	
525	勝子所請状・寺証文案 紙紐共	浄土真宗 西方寺	枳堀村 植村新助・阿部傳左衛	一紙	1点	(明治3年)1月	525~534一括。525は1/10
526	可入もの(髪かさり、下道包)			切紙	1点		525~534一括。526は2/10
527	書状(態と一簡啓上致、時下残寒之節安泰)				1点	10月7日	525~534一括。527は3/10。下書

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
528	覚(先日御あつらひ申し とり素ちり)	かつほ 鈴木		切紙	1点	10月24日	525~534一括。528は 4/10。ちりめん表染直 しの件
529	(すゝりばこ一つ 呉ふく 丁)			切紙	1点		525~534一括。529は 5/10。炷書き
530	覚(四百八拾五包)			切紙	1点		525~534一括。530は 6/10。紅掛奉書
531	(一花ひらくれハ天下皆 二 御子孫もはん昌)			切紙	1点		525~534一括。531は 7/10。朱の番号が1~ 17まである
532	覚(九貫三百八拾文 四百 六十九草染)	幸八		切紙	1点	巳10月19日	525~534一括。532は 8/10。下そめ、のぞき
533	供調(荷送り十二人)			切紙	1点		525~534一括。533は 9/10。才料迎ひ
534	(当人極不行届とのり付諸 事幾重ニ御教訓)			切紙	1点	丑巳10月15日	525~534一括。534は 10/10。4か条、長女清 子柝堀植村氏へ縁談用 なり
535	覚(はりはこ 黒ぬり)紙 紐共	かつほ 鈴木	七軒丁 ぬしや	切紙	1点	4月16日	535~545一括。535は 1/11。注文書 手水た らぬ、てはこ内べにか らぬり
536	覚(金三分貳百二十五貫)	与極 利三郎	鈴木	切紙	1点	8月14日	535~545一括。536は 2/11。受領証
537	覚(長4尺横2尺なみ)			切紙	1点		535~545一括。537は 3/11。見積書
538	覚(三十五匁 古絹巻反染 代)	鳥屋		切紙	1点		535~545一括。538は 4/11。見積書
539	覚(六十六匁 古縮緬八掛 附染直し)			切紙	1点		535~545一括。539は 5/11
540	書状(兎角不揃之天氣ニ而困 り入候)	加藤吳四郎	鈴木惣之丞		1点	8月16日	535~545一括。540は 6/11。新潟御渡し米割 方帳。裏面八月十六日 長岡買物炷書
541	覚(四百八拾貫四品直し 代)	竹屋 吉兵衛	鈴木様	切紙	1点	午8月16日	535~545一括。541は 7/11。受領証
542	覚(銀2両也 緬唐大直し)	山や 名平	鈴木	切紙	1点	午8月27日	535~545一括。542は 8/11。受領書黒印4こ あり
543	山や払始			切紙	1点	8月17日	535~545一括。543は 9/11。表丁、山や久吉 払
544	覚(百五十貫文緋唐ちりめ ん式丈)	山や 名平	鈴木	切紙	1点	8月16日	535~545一括。544は 10/11
545	覚(金壹両貳分白志ほり) (注文図、たんす、はりは こ、長持、葛籠)	能登屋 八十吉	上	切紙	1点	8月14日	535~545一括。545は 11/11。受領証
546					1点	丑巳10月	大工によるたんす1本 の材料見積りあり
547	覚(金4両也 紅裏3枚)	越中屋 陸四郎	上	切紙	1点	未3月15日	受領証
548	覚(3月15日金4両2分御召)	米屋 三兵衛	かつほ村 鈴木 惣之丞		1点	未3月27日	受領証
549	覚(金2両2朱 木脚)	阿部	カツボ 鈴木	切紙	1点	3月15日	受領証
550	覚(礼金31両遣入) (支払炷 残正金1両札式 両)			一紙	1点	3月17日	裏面に大久保庄五郎か ら鈴木惣之丞宛の年始 状あり
551					1点	8月14日	のとや、伊勢屋、青柳

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
552	練子用 買いもの				1点		品名と数量記載、くけ台、ふくさ、雪げた等
553	(㊦書き 小そでわた十)			切紙	1点		すそわた、まわた
554	覚(札金4両 外雲之分)				1点		支払控、うら丁竹屋、青柳や、のとや、伊勢や
555	水入ちゃわん			切紙	1点		図あり
556	「明治三年庚午春改 練子袋」紙紐共				1点	明治3年	裏面に「此度村方より御検地御竿入御願申上候」の文面あり
557	包紙「綾子袋」	鈴木			1点	明治2年10月	557~603一括。557は袋、1/47
558	包紙「二女練子再縁一卷」紙紐共	鈴木訥叟		切紙	1点	明治8年4月	557~603一括。558は2/47、1/12
559	書状(新年之御慶目出度申納候、中略陳者)紙紐共	本田朴民	鈴木訥叟	書状	1点	1月17日	557~603一括。558~569一括。559は3/47、2/12、1/5。道三郎年始にはお構いなく、手製の醤油一樽差上げる。追伸、少女を紹介して欲しい。
560	書状(この此程者昇館仕種々蒙御馳走難有)	上/ 本多道三郎	かつほ 鈴木惣一郎		1点	1月21日	557~603一括。558~569一括。559~563一括。560は5/47、4/12、3/5。ヨフジマ 2反は本家にて買置く、於三崎や
561	書状(朶雲拝見仕候、陳者縣治報知)	上野 新宅一統			1点	1月17日	557~603一括。558~569一括。559~563一括。561は5/47、4/12、3/5。品名と数量記載
562	口述(此間者数日預御馳走ニ奉多謝候)	本多道三郎	鈴木惣一郎		1点	1月21日	557~603一括。558~569一括。559~563一括。562は6/47、5/12、4/5。醤油3升御賞味ください
563	書状(新年之御慶御同風目出度御祝申上候)				1点	1月17日	557~603一括。558~569一括。563は7/47、6/12、5/5。日本政記は届ける「通儀」はない
564	書状(御文のやう拝し参らせ候されは)	上の れん	かつほ 御母上さま		1点	2月6日	557~603一括。558~569一括。564は8/47、7/12。稲葉のあかね様がいちげんに行くときの衣類の借用に対する返事
565	書状(けふ日ハ御はんたの御中より何よりの)	上の れん	かつほ 御母上さま		1点	9月20日	557~603一括。558~569一括。565は9/47、8/12。御八ちゃんの贈物に対する礼状
566	口上(さし入申上参らせ候こよへの)			切紙	1点		557~603一括。558~569一括。566は10/47、9/12。年また

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
567	書状(御ことおほの御中れ ん子おくり下され)	かつほ 内	上の おゆいさ ま、おはまさま		1点	9月28日	557~603一括。558~ 569一括。567は 11/47、10/12。たくさ ん与えられたおこわの 礼状
568	書状(さし入参らせ候、う つくしきかちんすみわけ)	才津 内より	かつほ 御内さ ま、おれんさま		1点	9月21日	557~603一括。558~ 569一括。568は 12/47、11/12。かちん すみの礼状
569	書状(拝啓仕候遂日秋冷相 益候)	本多道三郎	鈴木惣一郎		1点	8年9月27日	557~603一括。558~ 569一括。569は 13/47、12/12。贈品へ の御礼と法要欠席の連 絡
570	袋「長女綾子再縁談書付」 紙縫共			袋	1点		557~603一括。570~ 603一括。570は袋、 14/47、1/34
571	鈴木惣之丞口上	鈴木惣之丞	見附 六へ		1点	(明治4年)10月 2日	557~603一括。570~ 603一括。571は 15/47、2/34。当人今 年19才
572	書状(当日こんふ、かつふ し、するめ、樽等)	鈴木惣之丞	佐野伝四郎		1点	11月6日	557~603一括。570~ 603一括。572は 16/47、3/34。惣之丞 からの問合せ3か条
573	書状(拝見芳書添奉存候、 結納之一樽)	水澤一之助	鈴木惣之丞		1点	2月8日	557~603一括。570~ 603一括。573は 17/47、4/34。引越11 日遣し品々白帯
574	書状(御紙上之趣委細承知 任御意)	本間将之助	鈴木惣之丞		1点	11月9日	557~603一括。570~ 603一括。574は 18/47、5/34。御祝儀 を差上げなければなら ないが勝手不都合故御 高めんなしくだされたい
575	覚(白米五斗 貳拾軒)			一紙	1点		557~603一括。570~ 603一括。575は 19/47、6/34。他の 面、献立の記載
576	覚(銀八十六匁 御買物 ノ)	八百屋 忠七	かつほ 鈴木様	切紙	1点		557~603一括。570~ 603一括。576は 20/47、7/34。受領証
577	覚(銀拾五匁 本式本入)	八百や 忠七	鈴木		1点	11月5日	557~603一括。570~ 603一括。577は 21/47、8/34。請求書
578	覚(金貳分也)	竹屋 吉兵衛	鈴木	切紙	1点	未11月7日	557~603一括。570~ 603一括。578は 22/47、9/34。受領証
579	覚(金八両)	米屋 三六		切紙	1点	未11月7日	557~603一括。570~ 603一括。579は 23/47、10/34。緋唐縮 面、真綿、請求書

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
580	覚(九刃 紬)	米屋 三六	かつほ 鈴木	切紙	1点	11月8日	557~603一括。570~603一括。580は24/47、11/34。まき物仕立の帯買って欲しいの文あり
581	包紙「鈴木惣之丞様 貴下至急」	長谷川四郎	鈴木惣之丞		1点	10月18日	557~603一括。570~603一括。581~584一括。581は25/47、12/34、1/4
582	書状(寒冷相遂候処愈御清適奉拝賀候)	四郎	惣之丞		1点	10月17日	557~603一括。570~603一括。581~584一括。582は26/47、13/34、2/4。頓了寺の様子を知らせたもの
583	(別紙粟生津より被頼置候間御届々申上候)			切紙	1点	10月19日	557~603一括。570~603一括。581~584一括。583は27/47、14/34、3/4。新津書、三崎屋
584	書状(文して申し参らせ候、せんもじハひさびさにて)	美川内	惣之丞		1点	10月16日	557~603一括。570~603一括。581~584一括。584は28/47、15/34、4/4。稲葉の縁談あまりおもしろくない
585	御返じ(お勝手幾久敷目出庵悦入候)				1点	11月4日	557~603一括。570~603一括。585は29/47、16/34。引越道具送り来る11日徒取極
586	書状(御状拜見いたし候、弥御無異之由奉賀候)	水沢宗一郎	鈴木惣之丞		1点	10月29日	557~603一括。570~603一括。586は30/47、17/34。おりやう再縁
587	書状(如来参近日追々雪意も相催候処)	堪老	鈴木惣之丞		1点		557~603一括。570~603一括。587は31/47、18/34。東三寸
588	長岡買もの			横帳	1点	11月7日	557~603一括。570~603一括。588は32/47、19/34。神田梅花や
589	書状(如来教寒冷之節御座候処)	伝次郎	鈴木惣之丞		1点	11月1日	557~603一括。570~603一括。589は33/47、20/34。婚儀相手方との談合まとまる。餅の分米
590	覚(仕立上り 小袖3枚)	米屋 三六	かつほ 鈴木	切紙	1点	未11月10日	557~603一括。570~603一括。590は34/47、21/34。納品書
591	覚(五刃五分 3本入扇子箱)	忠七	かつぼむら 鈴木様	切紙	1点		557~603一括。570~603一括。591は35/47、22/34。請求書

市史25_古志郡加津保沢村鈴木家文書

通番	表題	差出(編著)	宛先	形態	数量	和暦	備考
592	覚(巻貫七百五十匁 御勘定残り)	平兵衛	かつほ村 旦那様 御使衆中	切紙	1点	11月10日	557~603一括。570~603一括。592は36/47、23/34。受領書
593	見附用事			切紙	1点		557~603一括。570~603一括。593は37/47、24/34。才津、鬼木、いなは
594	書状下書(寒氣相進候処愈御安静珍重奉存候)	鈴木惣之丞	浅野傳四郎		1点	11月30日	557~603一括。570~603一括。594は38/47、25/34。いなば御寺御縁談一条
595	覚(金貳匁也)	今町清水や 清四郎	鈴木様	切紙	1点	11月6日	557~603一括。570~603一括。595は39/47、26/34。受領証
596	覚(金貳兩貳分也 たんす、げた箱代)紙紐共	花野屋 房次郎	上	切紙	1点	未11月6日	557~603一括。570~603一括。596~597一括。596は40/47、27/34、1/2。受領証
597	覚(金3兩3分2朱也 上桐大筆す)	坂下町 房次郎	上	切紙	1点	未10月12日	557~603一括。570~603一括。596~597一括。597は41/47、28/34、2/2。請求書
598	覚(350文 くわんのき)紙紐共	又次衛門	かつほ 鈴木様	切紙	1点	未11月4日	557~603一括。570~603一括。598~602一括。598は42/47、29/34、1/5。請求書、火池
599	覚(1貫440文 すき油 六曲分)	誠右衛門	勝保村 鈴木惣之丞	切紙	1点	未11月3日	557~603一括。570~603一括。598~602一括。599は43/47、30/34、2/5。請求書
600	長岡用(銀蠟、かし、まんちゅう、せんす)			切紙	1点		557~603一括。570~603一括。598~602一括。600は44/47、31/34、3/5。品名と数量
601	綾子再縁土産取しらべ			切紙	1点		557~603一括。570~603一括。598~602一括。601は45/47、32/34、4/5。目録
602	綾子用かりもの			切紙	1点	11月10日	557~603一括。570~603一括。598~602一括。602は46/47、33/34、5/5。三条、才津、米屋、鬼木
603	綾子送り再取調			横帳	1点	辛未11月	557~603一括。570~603一括。603は47/47、34/34。桐たんす、手水たらゐ、下もたらゐ